

光西寺だより 第46号

海一味

発行所

大阪市平野区加美北1-25-1

光西寺

TEL 06-6754-6423

<http://www.oct.zaq.ne.jp/kousaiji>

「二度とない人生だから」

光西寺副住職 田中 咀 釈

二度とない人生だから

一輪の花にも無限の愛をそいでゆこう

一羽の鳥の声にも無心の耳を傾けてゆこう

二度とない人生だから

一匹のおろぎでも踏み殺さないようにして心してゆこう

どんなにか喜ぶことだろう

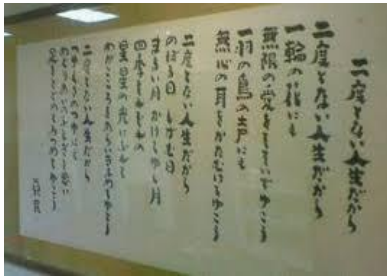
二度とない人生だから

一遍でも多く便りをしよう

返事は必ず書くことにしよう

二度とない人生だから

まず一番身近な者たちにできるだけのことをしよう
貧しいけれど心ゆたかに接してゆこう



坂村真民

「二度とない人生だから」と詠む真民さんの言葉には、人間としての有り難き生をいただいたことをいとおしむ思いと、さればこそ人としてひたむきに歩んでいこうとする誠実さがにじんできます。

「二度とない人生だから」を「死んだら終わりだから」と私たちは考えていないでしょうか。「死んだら終わりだから、なるべくおもしろおかしく生きていこう。」「確かにそれも一つの生き方でしょう。」

しかし、そう言い切るには、少し後ろめたさが残ります。善く生きようとする心が抗議の声をあげるのです。その声は小さく、ともすれば聞き漏らしがち。あるいは確かに聞こえたのですが、聞こえないふりをすることもあるかもしれません。だが、その声を大切にしたいです。なぜならその声こそ自分の本当の思いだからです。

何が大切で、何が大切でないのかを訴え続けている私たちの心の声を、真民さんの詩は代弁してくれています。

合掌

※讚仏偈の意味を知ろう

讚仏偈：「無量寿経」上巻に述べ

られる四言八十句の偈頌

親鸞聖人は、数あるお経の中で

『仏説無量寿経』こそが「真実の教」

であると、お示しになりました。

それは、この私の「すくい」が説か

れているから、「真実」であると仰

せになつておられます。

このお経の中にある『讚佛偈』八十

句の偈（讚歌）で、**阿弥陀さまが**

法蔵菩薩であつたとき、師仏である

世自在王仏のお徳を讃え、「どれほ

どの苦勞があろうとも、すべてのい

のちをすくうことができなければ

決してさとりを開かない」

という誓いが述べられています。

法蔵菩薩が師仏のお徳をほめ讃え

ておられるので『讚佛偈』といい、

「嘆仏偈」とも呼ばれています。

○光顔巍巍

み仏の顔は高大な山のように立派で

いじんむごく

○威神無極

お力は無限であります。

によぜんみよう

○如是焰明

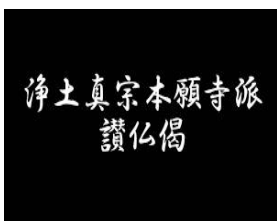
このような輝きは

むよとうしゃ

○無与等者

同等なものはありません

(続きは次号にて)



永代経法要のお知らせ

例年の永代経法要を左記の通り勤修いたしますので何卒ご参詣のうえお聴聞お焼香くださいませようご案内申し上げます。

四月二十日(土) 一時半より

二十一日(日) 一時半より

講師 兵庫県相生市

本願寺派布教使・慈眼寺住職

松田 義量 師

故野口晋画伯 遺作展

このたび縁あって吹田市野口滋様より父親の野口晋画伯の絵画二十点を当山へ寄進していただきました。絵画にふれることよって感動を覚え生きる力を培うこともできるでしょう。

四月二十日(土)〜五月十九日(日)



ほどけさまの教えを子どもたちに

おじいちゃん

おばあちゃん

お父さん

お母さん

そして

子どもたちへ

絵本から学ぶ

ほどけさまのころ

絵本童話の読み聞かせなどは子どもたちの大好きな時間です。

ほとけさまを敬うこと、いのちの尊さ、いのちのつながり、ありがとうの意味などをほどけさまのころに照らして伝えていくことが大切なことだと思います。

例えば「はるちゃんのいただきます」の絵本ははるちゃんという子が大好きなママと一緒に買い物に出かけるところからはじまり、おいしいご飯がでるまでには多くの「おかげさま」があることに気づかされます。絵本の最後にははるちゃんとママがしっかりと手を合わせて



「いただきます」をしています。絵本を読み進めると手を合わせる意味が小さな子どもたちにも自然とわかってきます。

日常の中で子どもたちのやさしいところを育てる、すばらしい絵本を通してお子さんとの触れ合いを楽しんでいただきたいと思えます。皆さんからのご要望を聞いて光西寺門信徒会よりご寄贈させて頂きますのでお気軽にご相談下さい。絵本の一部をご紹介します。

○お釈迦さまのものがたり

○お釈迦さま

○親鸞さま

○蓮如さま

○ちようになつた

○海の小学校

○はるちゃんのいただきます

○とくとくとく

○花まつりにいきたい
その他子ども向きの本が多数出版されています。皆さんのお申し出をお待ちしています。



☎〇六(六七五四) 六四二三

盂蘭盆法要
献灯の集い

お盆の法要へ是非お参り下さい。午前もあります。夜は献灯をお供えしお勤めいたします。先祖・故人の名前を書いて、感謝の心をお供えください。一灯に3名迄記入できます。

八月十六日(金)

●午前十時半〜合同追悼法要

●午後一時半〜

●午後七時〜 献灯の集い

(受付PM五時半〜)

献灯

一灯 参千円



第二十一回ふれあい旅行募集

年に一度のふれあい旅行も、二十一年目を迎える事になりました。
 今回は舞鶴で海軍ゆかりの港めぐり遊覧船・農村レストラン「ふるる」でビュッフェを楽しみ、舞鶴引揚記念館・舞鶴とれとれセンター(買物)へ日帰りの予定です。是非ご参加下さい。

行き先

海軍ゆかりの港めぐり遊覧船

舞鶴引揚記念館(見学)

舞鶴港とれとれセンター

(日帰りです)

日時 六月二日(日)

費用 八、〇〇〇円

(バス代、昼食代・拝観料含)

募集人員 四十人



光西寺駐車場設置

光西寺より南に三十メートル横に約二十坪の土地を購入し、駐車場にします。現在、駐車場にする為にアスファルト工事中でございます。尚、工事は四月末の永代経法要迄には完成予定です。今後ご参拝の折にはお寺にご連絡のうえご使用ください。光西寺駐車場の看板を出しております。



法話と茶話会の開催日

令和元年

五月二十四日(金)

午後二時〜

仏教格言 仏の一言

他人と

過去は

変えられないが

自分と

未来は

変えられる

門信徒会会費お願い

二〇一九年度分門信徒会会費三千円ご協力の程をよろしくお願い致します。五月上旬迄には決算書等と一緒に振込用紙を送付いたします。

